

gooddays

around **KANDA NISHIKI - CHO**
New Culture & Alternative Lifestyle

Vol. **36**

2024 SPRING ISSUE
PRICE 0 YEN

神田お稲荷さん巡り





around KANDA NISHIKI - CHO

Special Issue (36) Spring '24

神田お稲荷さん巡り

TEXT • Taichi Ueda / Asako Inoue / Monami cho
 PHOTO • Yuta Suzuki

今回のgooddaysは、5月に開催される太田姫稲荷神社の例大祭にむけて、お稲荷さん特集。

実は神田は知る人ぞ知る、お稲荷さんの宝庫。路地裏やビルの谷間に入れば、あちらこちらに大小様々な稲荷神社に出くわすはず。地図を広げて神田を中心に千代田区内でその数を数えると約50ヶ所にも及び、それぞれに個性豊かな鳥居と狐様があたたかくまちを見守り続けています。

どうしてこんなに神田にお稲荷さんが多く残っているのでしょうか？

神田とお稲荷さんの関係のルーツを紐解きながら、まちをよく知る達人らにおすすめの稲荷さん巡りのコースを取材。太田姫稲荷神社例大祭の歴史や魅力、楽しみ方もたっぷり伺いながら、みなさんをディープな稲荷の世界へと誘います。

もちろん、おいしいなり寿司をたずさえて。

ショッピングやグルメを楽しめる、新旧入り混じった神田錦町界隈。毎号テーマに沿って、こだわりのある人にインタビュー。神田のヒト・モノ・コトに出会える情報チャンネルです。

錦町一丁目町会 会長
藤井 城さん

1901年(明治34年)創業の葬祭業「博善株式会社」代表。2014年に錦町一丁目町会会長就任。また工藤菊詩城という芸名で津軽三味線奏者としても活動している。



6年ぶりの例大祭。太田姫の誇りをかけた節目の年

太田姫稲荷神社をしきる氏子として、プライドを持って祭りに向き合ってきた藤井さん。神田明神の祭りと同じくらい、太田姫も大事な神田の祭りのひとつとして知ってほしいと、周りを巻き込みながら盛り上げてきました。「先輩たちも太田姫に誇りを持ってやっていたので、僕もそれを引き継ぎました。町会長になってからは町内の結束を固めたり、他町会と祭りの手伝いをし合ったり、まち全体の祭りへの熱量を上げていった。最近『今年は大田姫の例大祭だね』と声をかけてもらえるようになってうれしいです」そんな藤井さん、30年前に初めて神輿を担いだ時は「辛かった」と笑います。「辛いんだけど全員で一心不乱に担ぐ。すると終わった後に、不思議な高揚感と一体感が生まれるんです。先人たちも同じ体験してきたんでしょうね」町会ごとの神輿を担ぐのではなく、一基の宮神輿を氏子4町会でリレー。町会同士がお互いを尊重し合っているので、祭りの雰囲気もなんだか和やかです。最も熱狂するのは15時ごろのJR御茶ノ水駅。中腰になったまま神輿を担いで屋根の中まで入っていき、改札の時計の周りを一周するというから驚きで

す。「神輿はだいたい50人くらいで担ぐ。『姫』と名前が付いているだけに、女性の担ぎ手も多いですよ。縞模様の半纏を着ているのは監督役で、進行方向や速さをコントロールする役目。僕は総代として、『太田桔梗』の紋付き袴を着て先頭を歩きます。神輿監督の掛け声に合わせて神輿をもむ(上下に揺らす)時に、全員の息がピッタリと合う瞬間は見ものです。四隅の紐が均等に上下して、音がシャンシャンと鳴り、頂上の鳳凰も美しく見えるんです」6年ぶりの開催となる今年は、祭りにとって大事な節目になると藤井さん。「まずは怪我もなく安全に終わられるようにというのが第一。また今年は祭りを新しい世代に引き継ぐという意味で、準備段階から若い人たちに入ってもらっています。6年間止まってしまいましたが、今年の祭りをしっかりやることができれば、きっと今後も続けていくことができます。だから一層気合が入っています。ぜひたくさんの方に観に来ていただきたいですし、町会の人間じゃなくても半纏を用意しますので、ぜひ神輿を担ぎに来てください。祭りは大勢で賑やかにやるのが一番ですからね」



太田姫稲荷神社



室町時代末期、娘が天然痘を患ってしまった太田道灌は、京都の一口稲荷神社（いもあらいなりじんじゃ）に全快を祈願。すると本当に病が治り、道灌は江戸城内に一口稲荷神社を勧請。1457年（長祿元年）に鬼門に遷座されてから「太田姫稲荷神社」と呼ばれるようになりました。1606年（慶長11年）江戸城改築のため社を城外へ移すことになり、神田錦町を経てから神田

駿河台の地へ。五穀豊穡と商売繁盛の神様として知られる宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）を御祭神とし、2年に一度、偶数年の5月に例大祭を開催。氏子である駿河台東部町会、駿河台西町会、小川町2丁目南部町会、錦町1丁目町会の4町会で宮神輿を担ぎ、まちを練り歩きます。

gooddays channel

太田桔梗の家紋や紫の飾紐、四隅に小鳥をあしらった宮神輿。頂きに乗る鳳凰の羽根が、根元から羽先までしなるような形になっていて、神輿をもんだ時にとても美しく見えるそう。今年は紫色のシルクの網など、一部新品になるのでお楽しみに！



太鼓は塗り直し、文字も綺麗にしたそう。



四隅には鳳凰があしらわれることが多いが、鳥がいるのは珍しい。

太田姫稲荷神社のお神輿



KANDA Walking

Guide

Jimba cha
to
Nishiki cho

編集部が歩いて回れるおすすめ神田ルートをご紹介します。今回は神田にある稲荷神社を巡るコースをご紹介します。いなり寿司を食べて休憩するのもおすすめです。ぜひ gooddays を片手に神田のまちを散歩してみませんか？



太田姫稲荷神社

東京都千代田区神田駿河台1-2-3

アクセス

JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」聖橋口徒歩2分
東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」1または2出口徒歩3分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B3A出口徒歩1分

太田姫稲荷神社についてはP5へ！

1

慶長年間に伏見稲荷大社から分霊して祀られたのが発祥で、安産の利益があると徳川家からも信仰されていたと伝えられている。その後鎮座していた土地が、足利藩の足利戸田長門守の屋敷地となり、稲荷神社も敷地内に入ることとなった。足利藩は五と十のつく日に地元で盛んだった織物市を行っていたこともあり、この土地でもまちに門戸を開いていくと、明治以降には縁日が建つほど賑わうように。正式名称の「栄寿稲荷神社」ではなく、「五十様」との愛称で呼ばれ、「五十稲荷神社」が定着している。



ごとお

五十稲荷神社

東京都千代田区神田神田小川町3-9

アクセス

東京メトロ丸の内線「淡路町駅」・千代田線「新御茶ノ水駅」都営新宿線「小川町駅」B7出口徒歩5分

2



KANDA SQUAREの敷地内にある稲荷神社。豊川稲荷の創建年代等は不詳ながら、戦災により1944年(昭和19年)に社殿焼失、それ以前は豊川稲荷ではなく稲荷が祀られていたと伝えられ、1948年(昭和23年)三河豊川稲荷の吒呎尼天(だきにてん)を勧請して再建したといわれている。オフィス街にポツンと建っている稲荷神社は通勤途中に立ち寄れるスポット。



豊川稲荷

東京都千代田区神田錦町2-2

アクセス

都営新宿線「小川町駅」B7出口徒歩3分
東京メトロ丸の内線「淡路町駅」B7出口徒歩3分

3



いなり寿司のはじまり 江戸の後期に登場したいなり寿司は、五穀豊稔を願って油揚げにおからや椎茸などを詰めて奉納したと言われている。当時から安価で美味しく、手軽に楽しめる味として、庶民から愛されてきたそう。



神田志乃多寿司

東京都千代田区神田淡路町2-2

平日7:30-17:00

土日祝7:30-16:00

休火



しのだり巻お詰め合わせ7ヶ入 983円(税込)

1902年(明治35年)創業の老舗として知られている。5種類の砂糖を使い甘く煮こまれた揚げと、砂糖は使わず酢と塩で仕上げたシャリが特長で、揚げとシャリが合わさったいなり寿司は、甘さと酸味のバランスが絶妙。職人が多かった神田のまちでは、運動会や遠足といった行事のときに神田志乃多寿司のいなり寿司を食べることが多く、地域の味として根付いている。出来立てよりも1時間~4時間ほど経って味が馴染んでからが食べごろとのこと。



食べ歩きいなり寿司2個 300円(税込)

神田明神の門前・鳥居橋にあるいなり寿司専門店。本店である、「江戸の味、粋な高級お弁当」みやびのレシピで作られている。店内で作られた揚げを使ったいなり寿司は優しい甘さが特長。いなり寿司に添えられたピリ辛ながり昆布も手作り、単おつまみとして単品で購入されるお客様もいるそう。



いなり寿司 みやび 門前店

東京都千代田区外神田

2-18-13

11:30-17:00



COLUMN

稲荷神社が多数鎮座する神田エリア。神田エリアにある稲荷神社を地図上に点で落として線で繋いでいくとなんとキツネのような形になるという噂が。そんな稲荷神社とキツネのイラストを組み合わせたすごろくを作った木下栄三さんにお話を伺いました。「今もある稲荷神社、管理する人がいなくなって名前だけが残っているところなどを含めて、令和4年に作った最新のすごろくは「安全祈願」と「御礼参り」、34の稲荷を足して36マス。画竜点睛という、一番大事な目のところに神田明神があるんですね。作ったのではなくて、本当の地図の上にのせているんです。36の稲荷を歩いてみましょうというツアーをやっているところもあるんですよ」
暖かくなってきた春、キツネの形に点在している稲荷神社を巡ってみてはいかがでしょうか。



木下栄三さん

神田で勤務して40年以上の画家で建築家。歴史や文化に親しみながらその遺産を記録し、絵として伝えることをライフワークとしており、著書に「絵本 神田彷徨」、「皇居東御苑の草木帖」、「描きたくなる！水彩でスケッチ」などがある。

EVENT INFORMATION 2024/Spring

venue Ohta Hime Inari Shrine period 2024/05/11Sat, 05/12Sun

event 太田姫稲荷神社例祭

隔年の5月中旬に本祭(神輿渡御)が行われる太田姫稲荷神社。コロナ禍が終わり、本年は6年ぶりに開催となる。2日目の15時ごろ、中腰になったまま神輿を担いでJR御茶ノ水駅の屋根の中まで入っていき、改札の時計の周りを一周する様子は必見だ。



PHOTO WALL Vol.18

テラススクエア
フォトエキシビジョン
2024/2/19(月)～2024/5/24(金)
開館時間8:00-20:00(最終日のみ19:00まで)
休館日 土日祝・年末年始 入場無料



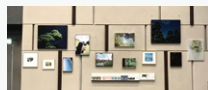
テラススクエアでは、パブリックスペースを活用したフォトエキシビジョンを開催中。「断片的」である写真とそれが向き合う現実が孕む「時間」との関係性を内包した作品

TERRACE SQUARE PHOTO EXHIBITION #30

Inherently fragmentary

過剰に繋がりを求めがちな現代にあって、誰をも表現者にしうる公共性の高いメディアである写真。それに反してその本質的なありようは極めて断片的なものです。今回紹介する2人の写真家の作品から感じるのは、写真における断片的なものどう向き合うか？を想像させる眼差しであり精神。文字通り断片としての写真と透明なコート材を平面に幾層に重ねた諏訪万修の作品は、ともすると既視感と共に均質化しがちなイメージに、映像的ともいえる複層的な時間を伴って揺さぶりをかけます。山口息吹の写真は日常と

いう不可視のフレームを拡張し断片としての写真を微視と巨視、フィクションとノンフィクションを往復しながら現出させてみせています。本展の作品から写真の一段面としてのありようと写真家像の今これからの感じることでできるのではないのでしょうか。今回テラススクエアで展示するのは、「断片的」である写真とそれが向き合う現実が孕む「時間」との関係性を内包した、一見シンプルでありながら実は複雑な構成を持った作品です。ぜひ実物をご覧ください。



テラススクエア
東京都千代田区神田錦町3-22

山口 息吹 Ibuki Yamaguchi 諏訪 万修 Mashu Suwa

1999年大分生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。2020年よりフィルムでの写真制作を始める。

1997年東京都生まれ。2021年東京総合写真専門学校卒業。近年は写真を使用しながら、イメージがメディアを通過するのに伴って変化する可視性と時間の関係について探究しながら制作する。

terrA **神田ばとんりれえ** オトナリ珈琲

KANDA BUTTON RELAY
...第13回...

神保町の日本酒酒場が
おすすめする、
神保町の隠れ家カフェ

オーナー夫婦 小栗山大介さん、
美紀さん

しば田ゆきさん 店主



オトナリ珈琲

「コーヒーをつくる人」「コーヒーをいれる人」に焦点を当てたWEBメディア「オトナリ珈琲」の実店舗として2021年に神保町にOPEN。コインランドリーが入る古民家の2階という隠れ家的空間で、全国の焙煎士のスペシャルティコーヒーとホームメイドのお菓子を提供する。

東京都千代田区神田神保町2-48 2F

営業時間はInstagramをチェック
https://www.instagram.com/otonaricoffee_shop/

terrA (てら)

2019年に神保町の路地裏にある築60年の古民家を改修してオープンした日本酒バル。オーナーの地元である千葉の食材をメインに、家庭料理と千葉の地酒を提供する。山や旅、音楽が好き的人也多く集まる。

東京都千代田区神田神保町1-18-8

16:00-23:00 不定休

<https://www.instagram.com/oguterra/>



カフェラテ ¥650、プリン(生クリームのみ) ¥550

お店をはじめたのは2021年。神保町はバイトもしていて馴染みがあったのと、本屋があって、レコード屋など文化施設があって、歴史があるのでフィーリングが合いました。物件も古くて面白いなど。神保町は喫茶店が多いですが、スペシャルティコーヒーを出す店はまだ少なかった。月替わりで全国のロースタリーから豆を仕入れ、抽出方法も変えるので、「いつもの味」がないのが特徴です。店名の由来は、「隣の人にできること」を、みんながすれば、世界は平和になると思っているから。これからはまちの人の心の中に静かにいる存在でありたいですね。(しば田さん)

日常的に、お店に出動する前とかにふらっと立ち寄る大切な場所ですね。初めて来た時は、こんなところにカフェが本当にあるの？という驚きがあって。下のコインランドリーを使っている人がいるとカフェも揺れる(笑) 秘密基地のようなワクワク感があってリラックスできます。横のつながりが生まれる酒場のうちとはまた違う居心地のよさ。この店では、没入できるというか、自分の世界に深く入っていける。こういう場所もまちには必要ですね。1杯1杯のコーヒーのプレゼンテーションも丁寧で、すごく面白いです。(小栗山さん)





いなり寿司 神田明神下みやび P.08



オトナリ珈琲 P.11



terra P.11



太田姫稲荷神社 P.05



神田志乃多寿司 P.07



五十稲荷神社 P.07



急川稲荷神社 P.08



PHOTO WALL P.10



博善 P.03



gooddays channel
「お稲荷さん」特集でご紹介したお店・場所



PHOTO WALL / ばとんりれえ 他
本誌連載にて紹介したお店

AREA MAP

